

第2回理事会会議録

日時	平成20年7月14日(月)午後3時30分～同5時
場所	日本歯科医師会 801会議室
出席者	<会長> 江藤一洋 <副会長> 黒崎紀正、井出吉信 <総務理事> 住友雅人 <常任理事> 高津茂樹、高木忠雄、佐藤田鶴子、平井敏博、 土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、後藤滋巳、 栗原英見、荒木孝二 <理事> 工藤逸郎、東理十三雄、瀬戸皖一、野口俊英、 山根源之、米満正美、福島和昭、岡野友宏、 覚道健治、森崎市治郎、佐貫直通、高田 隆、 田上順次 <input type="checkbox"/> 第21回日本歯科医学会総会 <会 頭> 大塚奩兵衛 <準備委員長> 伊藤公一 <事務局長> 松村英雄 <input type="checkbox"/> 日本歯科総合研究機構 <研究部長> 石井拓男 <input type="checkbox"/> 日本学術会議 <会 員> 渡邊 誠 <input type="checkbox"/> JADR <前会長> 安孫子宜光
欠席者	<常任理事> 川添堯彬、宮崎 隆 <理 事> 山田好秋

[議長 江藤会長]

1. 開 会
黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。
2. 挨拶
江藤会長から、挨拶がなされた。
引き続き、大塚会頭から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告（平成 20 年 4 月 18 日～平成 20 年 7 月 13 日）
- 第 1 回理事会及び常任理事会会議録（平成 20 年 4 月 18 日開催）
- 第 2 回常任理事会会議録（平成 20 年 5 月 19 日開催）
- 第 3 回常任理事会会議録（平成 20 年 6 月 16 日開催）

2) 第 21 回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

- 総会関係報告（平成 20 年 4 月 18 日～平成 20 年 7 月 13 日）

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

- 学会会計収支計算書（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）
- 第 21 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書
（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

- 歯科医療未来構想会議の発足について
江藤会長より、標記会議の発足趣意書に基づき説明がなされた。
- 歯科診療ガイドラインのあり方について
江藤会長より、「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」がとりまとめた標記ガイドラインに係る報告書について、資料に基づき報告がなされた。
- 先進医療の保険導入等について
黒崎副会長より、標記へ対応すべく設置した先進医療技術に関する検討会下の「インプラント義歯の指針策定 WG」及び「顎関節症の指針策定 WG」について、委員名簿に基づき報告。両 WG は第 1 回会合を開き、指針策定に向けた具体的作業にとりかかった旨補足説明がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、本年改訂される「新医療機器・医療技術産業ビジョン」内に、①オーダーメイド歯科医療（唾液解析によるう蝕・歯周病原因

細菌の検査)、②体内植え込み型機器(人工歯根)、②再生医療(歯根膜シート)、④在宅歯科医療(ポータブル歯科医療機器の開発)、⑤予防としての8020運動の更なる促進等が新たに盛り込まれる予定である旨報告がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

▶日本老年歯科医学会への諮問について

井出副会長より、歯科大学・歯学部における在宅歯科医療と摂食嚥下リハビリテーションのカリキュラム作成について、日本老年歯科医学会に対し原案の作成を諮問し、これを基に学際領域問題検討委員会で検討した上で、関係分科会に対しパブリックコメントの形式で意見を求めていく旨報告がなされた。

(4) 専門医制度の確立

江藤会長より、専門医制度のあり方について、医療従事者、行政、国民代表等を交えた懇談会を開催していきたいと説明がなされた。

(5) 国際交流の推進

▶第96回FDI年次世界歯科大会総会において審議予定のFDI政策声明案に対する各専門分科会からの意見について

住友総務理事より、標記声明案に対する専門分科会からの意見について資料に基づき報告後、これをもって日歯へ回答する旨併せて説明がなされた。

江里口常任理事より、同意見の取り扱いを含め、FDI政策声明案に対する日歯の対応については、日歯国際渉外委員会内で検討していく旨報告がなされた。

5) 学術講演会について

土屋常任理事より、各地区歯科医師会から本年度の学術講演会を在宅歯科医療施設基準算定における認定研修会として取り扱われたいとの要望があった旨報告がなされた。

これを受けて、本学会としては、修了証及び事後抄録内に一定の文言を挿入するとの結論に至った旨補足説明がなされた。

6) ミャンマーサイクロン、中国大地震災害義援金について

住友総務理事より、第2回常任理事会の決定に基づき募った標記義援金の取り扱いについて説明がなされた。

7) 会長報告

江藤会長より、第2回日歯理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告がなされた。

8) その他

江藤会長より、日本歯科医学教育学会に対し、アジア歯科医学教育学会の日本側代表者選出の申し入れを行った旨報告がなされた。

4. 協 議

(1) 平成19年度学会会計収支決算

高木常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、第80回評議員会に議案として上程することとした。

(2) 平成19年度第21回日本歯科医学会学術大会会計収支決算

高木常任理事より、標記について資料に基づき諮られ、第80回評議員会に議案として上程することとした。

(3) 日本歯科医学会規則の一部改正について

住友総務理事より、標記規則の改正について資料に基づき諮られ、第80回評議員会に議案として上程することとした。

(4) 日本歯科医学会選挙規程の制定

住友総務理事より、現在、学会独自の選挙規程が定められておらず、日本歯科医師会の関係諸規則を準用する旨規定されていることを説明がなされた。

さらに、日本歯科医師会が過年度実施した選挙規則改正において、新たな有権者として選挙人が加えられたが、この制度は本学会組織にはそぐわないため、第80回評議員会に、本学会独自の選挙規程の制定に関する議案を上程したいとして諮られ、協議の結果、承認された。

(5) 日本歯科医学会評議員選出基準の一部改正

住友総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(6) 日本歯科医学会会長賞授賞基準の一部改正

住友総務理事より、標記基準の一部改正について、資料に基づき諮られ、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(7) 日本歯科医学会専門分科会承認基準の一部改正について

住友総務理事より、標記基準の一部改正について、資料に基づき諮られ、第 80 回評議員会に議案として上程することとした。

(8) 第 80 回評議員会の運営について

住友総務理事より、標記について諮られ、原案通りの日程で開催する旨承認された。

3) その他

次回、第 3 回理事会：10 月 14 日（火）午後 3 時より開催することを確認した。

6. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。